

# 「旧・報連相」と『真・報連相』の違い

旧・報連相	真・報連相
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 報連相は「報告・連絡・相談」の略称</li>   <li>● 初級社員の「ビジネスマナー」や「職場のコミュニケーション」といった程度の浅い認識</li>   <li>● 個人のビジネススキル</li>   <li>● 報告・連絡・相談の「基本的なやり方・手段」を初級社員に教える</li>   <li>● 【旧・報連相の核心】 <ul style="list-style-type: none"> <li>—（※核心と呼べるものがない）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 報連相は『仕事の進め方』そのもの。 （真・報連相は、質の高い『仕事の進め方』 そのもの）</li>   <li>● 組織の上から下まで、全ての社会人に求められる心技体の報連相（上役からの報連相→情報によるマネジメント）</li>   <li>● 入口は個人の報連相だが、めざすところは組織全体の風土改革。（情報の共有化を深めている組織づくり）</li>   <li>● 「質の高い仕事の成果をあげる人」に共通する、「仕事の進め方」や「考え方」を学び、自己の仕事の進め方のブラッシュアップを図る</li>   <li>● 【真・報連相の核心】 <ul style="list-style-type: none"> <li>『3つの視点』</li> <li>『3つの深度』</li> <li>『3つの方向』</li> <li>+</li> <li>『真・報連相の5段階のレベル表』</li> </ul> </li> </ul>